

NIPPON STEEL

モルタル下地材

W-ラス

プロが認めた、施工性、耐久性。モルタル下地材のスタンダード。

株式会社ニッケンビルド

下地材も、 壁です。

外壁も下地材は、
W-ラス。

「W-ラス」には、妥協しない品質と独自の技術を惜しみなく投入しました。

そのひとつが、タテ・ヨコ均一に太さ1.6mmの『力骨(りっこつ)』をラス網に溶接したこと。

これにより、正しい湿式工法に適合した剛性を生みだします。

モルタルと強固に一体化することで、壁としての性能を保ち、住宅を守ります。

なによりも塗壁は、個性あふれる風合い、印象を魅せます。

湿式壁の下地材には、信頼と実績の「W-ラス」。



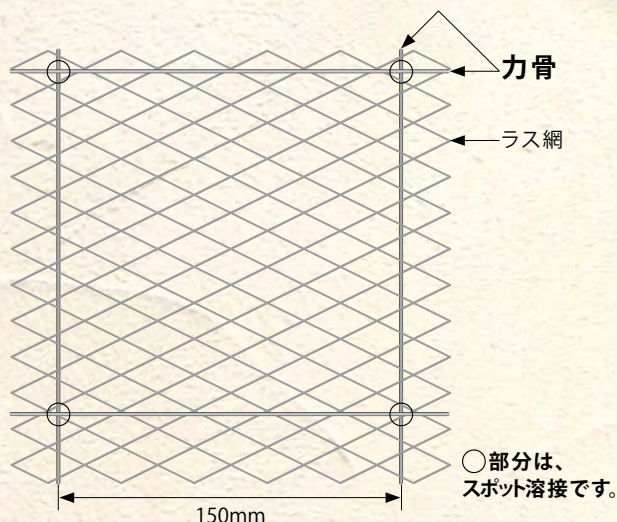
施工写真提供：住友林業株式会社

プロに絶賛。
W-ラスの
3大特長。

チカラのあるラス。
W-ラス。

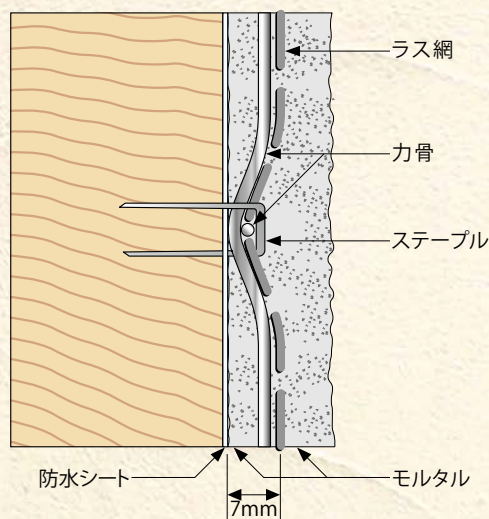
1 力骨つき。…だから、 長期間モルタル壁を しっかり保持します。

- ◇ラス網に150mm間隔でタテ・ヨコに1.6mmの力骨を溶接済。
- ◇接点はスポット溶接。完全自動生産で製品ムラのない均一な仕上り。
- ◇W-ラスは力骨もラスの鋼板も、腐蝕に強い亜鉛メッキ材を使用。



2 波つき。…だから、 モルタルとW-ラスが一体化し、 強い壁をつくれます。

- ◇力骨には150mmピッチで7mm波付が施されています。
- このためW-ラスはモルタルの中心に入りますから、確実な左官施工ができます。



3 かんたん。…だから、 施工には特殊技術を 必要としません。

- ◇力骨にエアータッカーでステープルを打ちつけるだけ。施工がとても容易です。
- ◇折り曲げ、切断も自由にできます。
- ◇完成検査が確実にできるのもW-ラスの特長のひとつです。
- ◇工期も短縮でき、経済性に優れています。



施工しやすい、と現場で評判。
W-ラス。

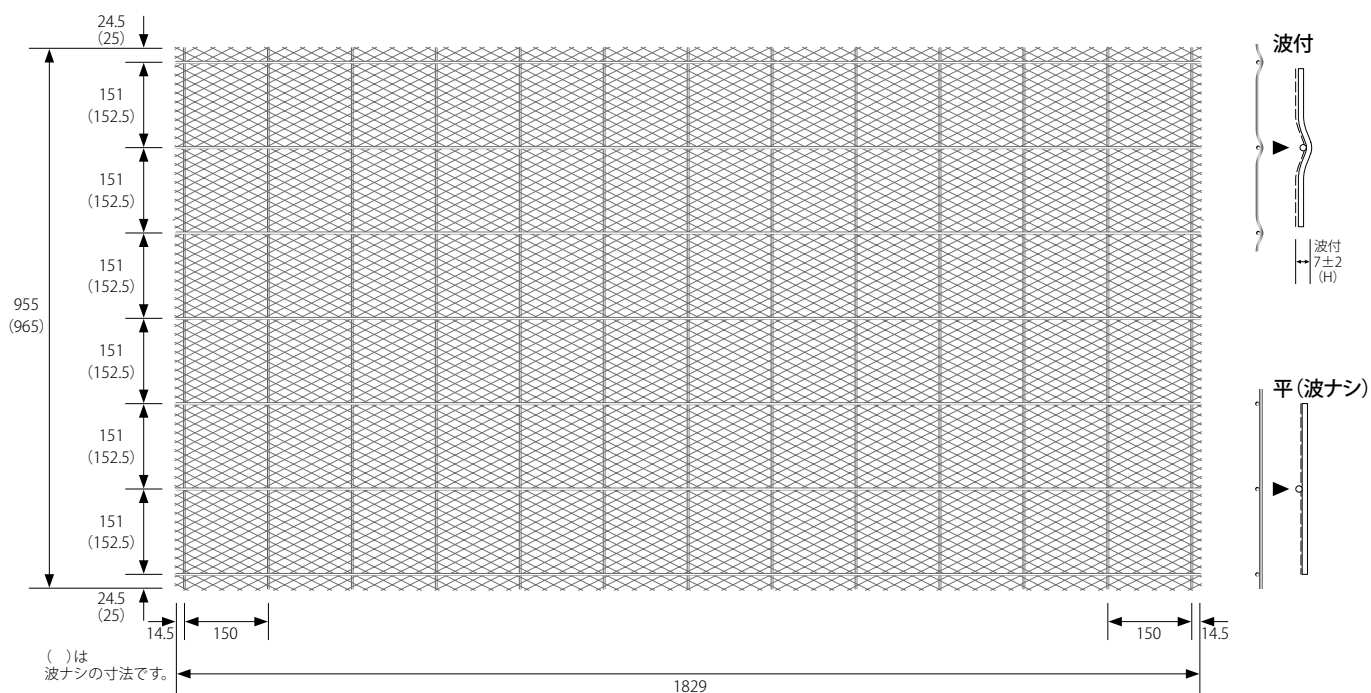
現場のプロに愛される「W-ラス」。理由があります。

■仕様

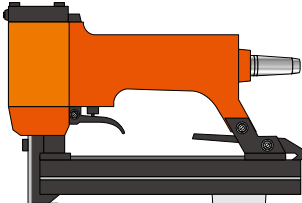
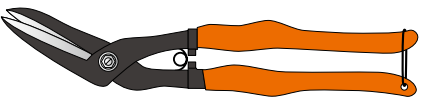
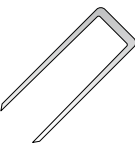
品 名	記 号	形 状	サ イ ズ(mm)	㎡/枚	枚/坪	枚/梱包	製品質量		特 長
							kg/枚	kg/㎡	
W-ラス	NW-1 9018N (住宅金融支援機構適合品)	波	955×1,829	1.7	2	20	1.2	0.7	NW-1 は波付で必要なモルタル厚の確保が容易です。
	NW-1 9018 (普及タイプ)	波	955×1,829	1.7	2	20	1.0	0.6	
	NW-2 9018N (住宅金融支援機構適合品)	平	965×1,829	1.7	2	20	1.2	0.7	NW-2 は波ナシで薄モルタル用です。
	NW-2 9018 (普及タイプ)	平	965×1,829	1.7	2	20	1.0	0.6	
		材 質							
使用材料	カ 骨	JIS G 3547	SWM GS-2	Ø1.6	亜鉛メッキ鉄線または同等品				
	ラ ス	JIS A 5505	平ラス1号、0号	亜鉛メッキ銅板または同等品					

※商品改良のため予告なしに仕様の変更を行なうことがあります。

■姿図 単位=mm



■施工に必要な道具類

 エアータッカー	 ラス鉋	 ステーブル 719M以上
--	--	---

■ 施工方法

- 1** W-ラスはモルタルの食いつきを良くするため、「波付」が施されております。張る場合、谷部を下地側にしてください。
(前頁姿図参照)



写真A

- 2** ステープルは、エアータッカー釘の場合は719M以上のものを使用し、150mmピッチに力骨を留めます。
(前頁姿図参照)



写真B

- 3** 重ねシロは30mm以上とし、継ぎ目にふくらみのないよう平滑に張り上げてください。
(写真A参照)

- 4** 出隅、入隅では折り曲げ施工とし、継ぎ合せ施工はしないでください。
(写真B参照)



写真C

- 5** 開口部などクラックの発生しやすい箇所は、補強張りを行ないます。(150mm×300mm以上のもの)
(写真C参照)

- 6** W-ラスは、力骨がタテ・ヨコ、バランスよく配置していますので、タテ張り、ヨコ張り、いずれもできます。



■ 壁体内通気工法用モルタル下地材 ラインアップ

構造が強い。施工が簡単。工法が住宅にやさしい。通気工法をいちばんに考えた専用のラス材です。

壁体内通気工法用下地材

ニッケン通気ラス

特
長
◇

Point ① 「ラス」と「裏打紙」を独自の技術で一体化!

一体化したラスと裏打紙が、外壁と躯体の空間をしっかりと確保。
湿式通気工法に最適です。

Point ② 各種基準を上回る、高い剛性!

住宅金融支援機構基準 (700g/㎡)、日本建築学会 (JASS) 基準 (800g/㎡) を上回る
839g/㎡ の質量を誇ります。

Point ③ 剛性を持ちながら、切断や折り曲げが簡単!

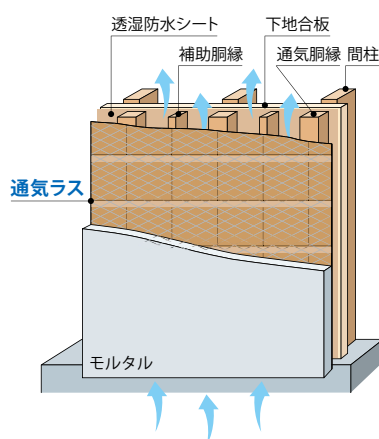
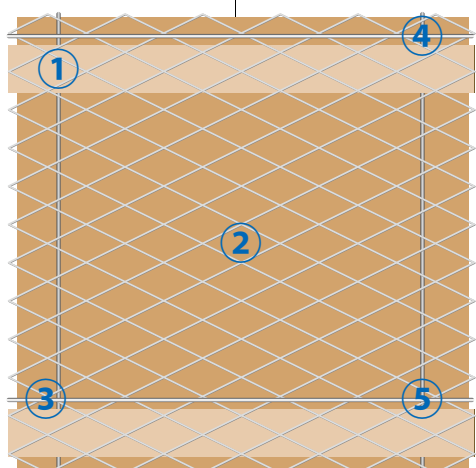
コーナーや開口部周りでの折り曲げ、切断も簡単。面倒な役物も不要。
通気胴縁にステープルで留めつけるだけで、簡単に施工できます。

Point ④ 太さ1.6mmの力骨で、さらに強靱!

150mm ピッチで1.6mmの力骨がスポット溶接された、丈夫な構造です。

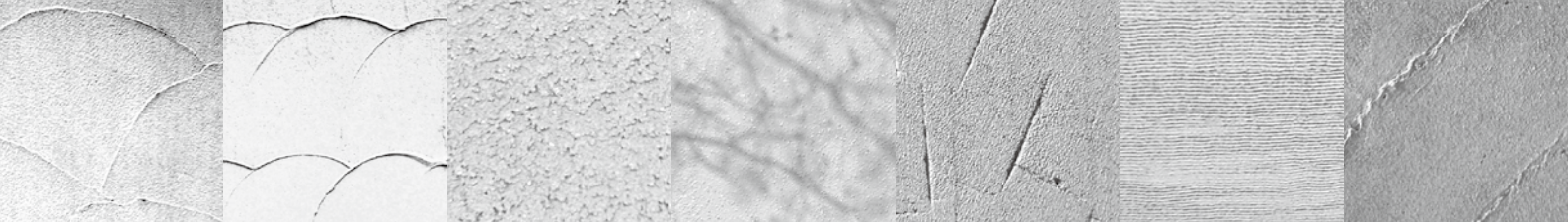
Point ⑤ 腐食に強い溶融亜鉛メッキ材使用!

力骨もラス材も、腐食に強い溶融亜鉛メッキ材使用。
モルタル壁をしっかりと保持し、長持ちさせます。



◇ 製品概要

製品名	ニッケン通気ラス
記 号	NTW-2T9018
寸 法	965mm×1875mm
質 量	839g/㎡
1枚当たりの製品重量	1.85kg
梱 包	20枚
	37kg



強さ、加工性、断熱性などに優れた独自の工法。下地材が不要な特殊ラス材です。

高性能左官下地材

日鉄ラス (Nラス)

特
長
◇

Point ①

日鉄ラス (Nラス) を使ったモルタル壁はなぜ強いのか。

日鉄ラス (Nラス) は1.6mm、2.0mmという今までのラスにない太い鉄線を使い、そのタテ・ヨコの交点は全てスポット溶接されている強いラス材です。
また、垂鉛引鉄線を使用していますので、ラスの腐蝕を防止し、一般ラス材に比べモルタル壁のはく落を長期間防止します。

Point ②

クラフト紙の孔から押し出されたモルタルが、しっかりと鉄線をかかえ込み、強い足がかりをつくります。
また日鉄ラス (Nラス) には、ステープルを打ちつける位置に波付けがほどこされ、鉄線はモルタルの中に完全につつまれます。
こうした特殊な日鉄ラス (Nラス) の構造は、モルタルとラスの付着強度が強く、いうなれば《鉄筋モルタル壁》をつくりだします。

Point ③

湿式通気工法に最適で、通気胴縁にステープルで止め付けるだけで下地が完成する工期のすばやさと、1.6mmと2.0mmの垂鉛メッキ鉄線で構成された強い構造で、補助胴縁の施工が不要と、日鉄ラス (Nラス) ならではのすぐれた特長です。

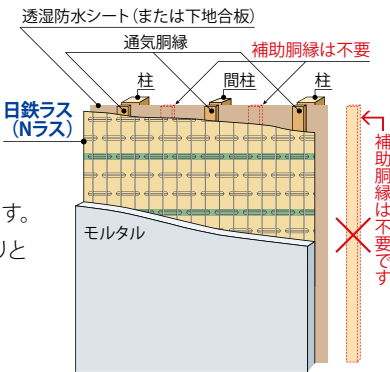
こうした合理的な日鉄ラス (Nラス) の構造は、モルタル壁のキレツを最小限度に食い止め長持ちさせる。

Point ①

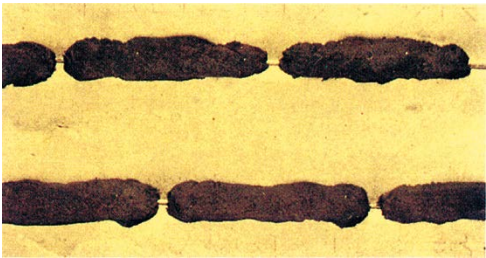
日鉄ラス (Nラス) には、ステープルを打ちつける位置に波づけが施されていて、鉄線はモルタルの中に包みこまれます。
またクラフト紙の孔から押し出されたモルタルがしっかりと鉄線をかかえ込み強い足掛けをつくります。

Point ②

日鉄ラス (Nラス) 壁は、鉄筋モルタル壁ともいうべき強い壁をつくりだします。



鉄筋を包み込んだモルタル



◇ 製品概要

製品名	日鉄ラス (Nラス)
記 号	NA-11880
寸 法	708mm×1910mm
質 量	0.84kg/m ²
1枚当たりの有効面積	1.21/m ²
坪当たりの枚数	3枚
1枚当たりの製品重量	1.5kg
梱 包	20枚
	30kg

日鉄建材グループ

株式会社ニッケンビルド

<https://www.n-build.co.jp>

■ 本 社	〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17番12号 SAビル
管 理 部 (代 表)	TEL:03-5620-1011 FAX:03-5620-1025
ファインフロア営業グループ	TEL:03-5620-1016 FAX:03-5620-1025
床部品営業グループ	TEL:03-5620-1012 FAX:03-5620-1026
ラス営業グループ	TEL:03-5620-1013 FAX:03-5620-1026
物 流 製 品 営 業 部	TEL:03-5620-1018 FAX:03-5620-1024
■ 東 北 営 業 所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3丁目6番1号 一番町平和ビル TEL:022-217-3777 FAX:022-263-2739
■ 名古屋営業所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目13番18号 NSビル TEL:052-564-7164 FAX:052-533-7556
■ 大 阪 営 業 所	〒541-0042 大阪市中央区今橋4丁目1番1号 淀屋橋三井ビルディング TEL:06-6202-6215 FAX:06-6202-6217
■ 九 州 営 業 所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号 博多NSビル TEL:092-281-8100 FAX:092-281-9908

* ラス製品はラス営業グループまでお問い合わせください
TEL:03-5620-1013 FAX:03-5620-1026

※商品改良のため予告なしに仕様の変更を行うことがあります。